

“農地・水・環境保全” 水土里のネットワーク通信

第110号

2017. 6. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

平成29年度市町村担当者会議開催

4月25日、島根県主催の平成29年度多面的機能支払交付金に係る市町村担当者会議が開催され、県内の市町村、県地方機関の担当者及び島根県農地・水・環境保全協議会事務局（水土里ネット島根）から約50名が出席しました。

会議は、中国四国農政局農地整備課多面的機能支払推進室永木室長の挨拶の後、同室の保全推進係森係長が平成29年度予算と制度改正について説明、引き続き、県担当者からは本県の交付金交付要綱、県要綱基本方針の一部改正、推進交付金の配分方針、年度当初スケジュール等の説明がありました。



本年度の主な制度改正のポイントは次の4つです。

◆経理区分の一本化

- ・今まで「農地維持及び資源向上（共同）」と「資源向上（長寿命化）」に分けていた金銭出納簿の経理区分を経理事務の軽減を図るため、経理区分の一本化を可能とする。
（※詳細は、市町村担当者又は協議会事務局へお問い合わせください。）

◆畑地化した田の交付単価の経過措置

- ・事業計画の実施期間中に水田を畑地化した場合は、当該期間中においては、農地維持支払の交付単価について水田の単価を適用する。

◆「多面的機能の増進を図る活動」における広報活動の要件化

- ・平成29年度以降、資源向上支払（共同活動）の多面的機能の増進を図る活動を新たに取り組む活動組織（事業計画期間の終了に伴う再認定を含む。）は、増進活動を1つ以上実施するとともに、活動組織で実施する活動項目に関連した広報活動を実施する。（ただし、広報活動については、対象農用地に農林統計に用いる農業地域類型区分の中間農業地域又は山間農業地域又は地域振興立法8法が含まれる活動組織は任意とする。）

◆中山間地農業ルネッサンス事業への対応

- ・今年度、中山間地農業を元気にする中山間地農業ルネッサンスが創設された中で多面的機能支払交付金も支援事業に位置付け、中山間における地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承する活動を支援する。（優先枠の範囲での優先的予算の配分）

これから先、どうしていくのか ~アンケート調査を実施~

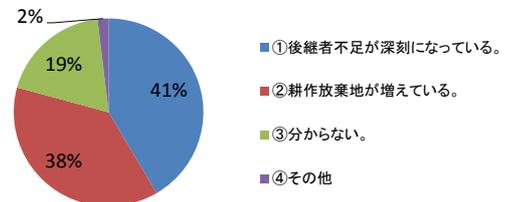
私達組織は、平成 19 年より農地・水・環境保全向上対策を始めた県東部の組織です。活動を始め、早くも約 10 年が経とうとしています。

今回、農地維持支払「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」として地域の農業を担っている皆が、これから将来の農業をどうしていけば良いのかを模索するためにアンケートを実施しました。

アンケート結果により私達の集落は、個々の農地規模は 1ha 未満が 70%と小規模な農家が占めています。そして主な就労者は 60~70 歳代以上が 65%と高齢化してきているのが現状です。

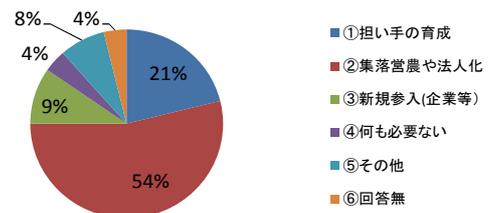
1. 10年後の農業はどうなっていると思いますか？

「後継者不足」41%、「耕作放棄地増」37%と高齢化と後継者がいなく耕作放棄地が増える。



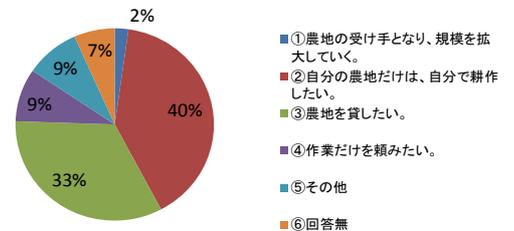
2. 地域の農業を行っていくにはどのようにしたら良いですか？

約 50%の方が「集落営農」と回答しているが、生活が成り立つ収入を確保できなければ協力者の確保は難しい。



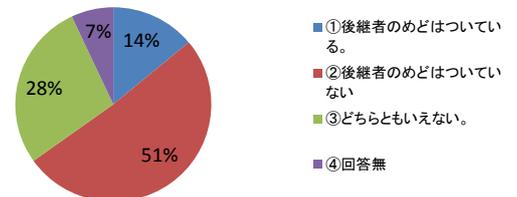
3. あなた自身の農地を今後どのようにしたいか？

「出来る範囲は自分の農地は自分で管理して行きたい」40%、「貸したい」33%と、将来が見えてこない回答となっている。



4. 後継者はいますか？

「後継者がいる」と答えたのが 14%、「いない」、「どちらともいえない」と答えた約 80%の方が後継者不足を心配している。



今回実施したアンケートの結果でも分るように、ほとんどの農家が将来に対し不安を感じています。

農業従事者の高齢化、後継者不足の「人」の問題、耕作放棄地の増加の「農地」の問題により、将来展望が描けない状況となっています。

これからの地域農業を守っていくには個々では解決できる問題ではありません。組織を中心に、多面的機能支払交付金を活用しながら、地域農業を守っていくにはどうしたら良いかを地域全体で考えていきたいと思ひます。

集落に春を運ぶ「シバザクラ祭り」

4月29日（土）永田集落農地・水保全管理組織（安来市広瀬町）で開催された「シバザクラ祭り」に行ってきました。新聞やテレビでも紹介され、昨年にも増して多くの来場者で賑わっていました。

「シバザクラ祭り」も2年目を迎え、植栽地3箇所をめぐるスタンプラリーやテント村での農産物加工品の販売、イノシシ肉のバーベキュー、トラックの荷台を使った特設ステージでのイベント、会場までシャトルバスの運行などお祭りもスケールアップされていました。

美味しいものをいただきながら、集落を散策する。気持ちの良い一日を過ごせました。

協議会事務局

事務局 仙石さんから

シバザクラも短期間に各方面からこれだけ注目されるとは思っていませんので反響の大きさにびっくりです。

集落全員が地域資源の継承、地域の活性化に取り組む絆が益々強まったようです。



倉敷から地域おこし協力隊の女性も訪問

平成29年度第1回通常総会開催

島根県農地・水・環境保全協議会（会長山碕飯南町長）

第1回通常総会が5月22日に土地改良会館大会議室において開催されました。

はじめに、会長から「本交付金は、地域コミュニティ等に有効に活用され、地域住民からも高い評価を得、活動は県内の農振農用地の55%まで広がっている。今後も本推進協議会は、活動組織の安定運営や広域組織への再編などの取り組みについて県、市町村とともに一層努力していく」との挨拶がありました。その後、平成28年度事業報告、平成28年度会計収入支出決算について事務局から説明、両議案について全員賛成で承認されました。



会長

ネットワーク通信 送付先に変更はありますか

年度が変わり、ネットワーク通信の送付先に変更があった活動組織の方は、同封しました「連絡先届出書」にご記入の上、協議会事務局へ送ってください。
協議会のホームページからも届出書の様式のダウンロードや送付もできます。



★今月の予定★

6月22日 (木)	平成29年度多面的機能支払交付金市町村担当者初任者研修会 (松江市)
6月30日 (金)	ルーラル・ミーティング in しまね (H29) (隠岐の島町)

ちょっと一息
おたよりコーナー

協議会のホームページがリニューアル

協議会事務局

協議会のホームページがリニューアルしています。報告書などの様式をダウンロードされた方は見られた方もいらっしゃると思います。

今までどおり、各種様式のダウンロードや研修会などのお知らせ、ネットワーク通信も見ただけのほか、今回「スタッフブログ」も始めました。スタッフからの情報発信はもちろん、各組織から送っていただいた活動の様子などもブログで紹介していきたいと思っておりますので、是非ご覧ください。

また、画面左に「メール窓口」も設けています。皆さんの活動の様子や相談、質問などお気軽に送ってください。

なお、ホームページはスマートフォンからもご覧いただけます。



メール窓口

スタッフブログ

緊急告知！

「YAWATAシャングリラプラン」(松江市)の活動の様子が
6月19日(月) TSK山陰中央テレビ「なるほど、吉田くんのしまねゼミ」
20時54分～21時で紹介されます。是非ご覧ください。



～担当者の声～

前号の10周年記念特集に局長表彰を受賞された5活動組織から寄稿していただきありがとうございました。寄稿を快く引き受けていただき本当に感謝です。(いつもすみませんm(_ _)m)

特集号では、組織内で「共通認識」を持つことの大切さを改めて感じました。組織内をまとめていかれる代表、役員の方のご苦勞もあると思います。ただただ、「頑張ってください。」としか言葉が見つかりません。

平成29年度も始まりました。今年度も皆さんよろしくお願いいたします。(協議会 F)

～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会

〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ

Tel 0852-22-6262

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



種の集落を守る会 (益田市)